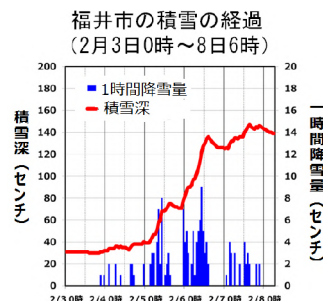


2018年（平成30年）の日本の天候

2018年（平成30年）の日本の天候の特徴：

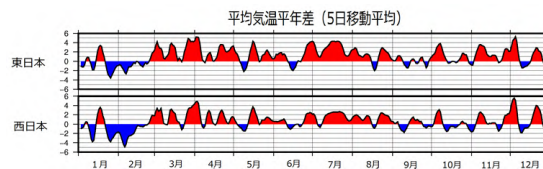
冬（2017年12月～2018年2月）は全国的に低温となり、北陸地方中心に大雪となった

冬は、日本付近にはしばしば強い寒気が南下し、冬の平均気温は全国的に低く、特に西日本では平年差-1.2と過去32年間で最も低くなった。日本海側では北陸地方を中心に大雪になり、交通障害が発生した。



春から夏にかけては東・西日本中心に記録的な高温となった

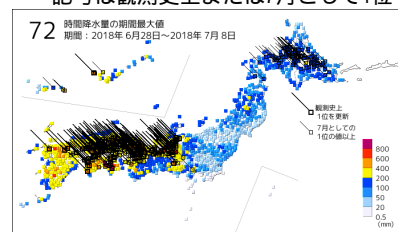
春から夏にかけては、東・西日本中心に気温のかなり高い状態が続き、記録的な高温となった。特に夏は多くの地方で梅雨明けがかなり早く、厳しい暑さが続いた。熊谷では7月23日に41.1の国内歴代1位の高温を記録した。東日本では、春の平均気温（平年差+2.0）、夏の平均気温（平年差+1.7）ともに1946年の統計開始以来最も高く、年平均気温（平年差+1.1）も1946年の統計開始以来最も高くなった。



「平成30年7月豪雨」の発生により西日本中心に記録的な大雨となった

7月上旬は、本州付近に梅雨前線が停滞し、南から大量の湿った空気が流れ込んだため、西日本中心に数日にわたり記録的な大雨となった。土砂災害や河川の氾濫など甚大な被害が発生した。

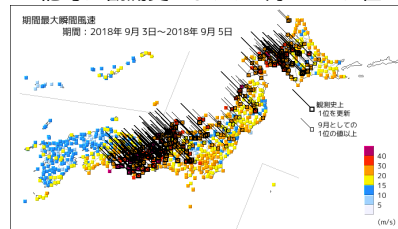
72時間降水量の期間最大値(6.28～7.8)
記号は観測史上または7月として1位



台風第21号、第24号の接近・通過に伴い各地で暴風、高潮となった

9月上旬に台風第21号が非常に強い勢力で徳島県南部に上陸したのち近畿地方を北上した。また、台風第24号が9月下旬に沖縄地方に接近した後、西日本から北日本を縦断した。これらの台風の接近・通過に伴い、広い範囲で暴風や高潮となった。

期間最大瞬間風速(9.3～9.5)
記号は観測史上または9月として1位



1 概況

冬（2017年12月～2018年2月）は西日本中心に全国的に低温となったが、春から夏にかけては東・西日本中心に記録的な高温になったことから、年平均気温は、全国的に高く、特に東日本では平年差+1.1 と1946年の統計開始以来最も高かった。年降水量は、東日本太平洋側で平年並のほかは多く、春から夏に低気圧や前線の影響を受ける日が多かった北日本日本海側や「平成30年7月豪雨」、台風、秋雨前線の影響で度々大雨となった西日本太平洋側ではかなり多かった。年間日照時間は、北日本は平年並だったが、移動性高気圧や太平洋高気圧に覆われ顕著な多照となる時期があった東・西日本、沖縄・奄美ではかなり多かった。

季節別の特徴は以下のとおり。

【冬】

冬（2017年12月～2018年2月）は、日本付近に強い寒気の流れ込むことが多かったため、全国的に冬の平均気温は低く、特に西日本は平年差-1.2 と過去32年間で最も低くなった。北日本から西日本にかけての日本海側では発達した雪雲が日本海から盛んに流れ込み、北陸地方を中心に度々大雪になり、交通障害が発生した。福井では、最深積雪が147cmに達し、37年ぶりに140cmを超えた。北・東日本太平洋側でも低気圧の影響で大雪になった日があった。

【春】

春は、期間を通して暖かい空気に覆われやすかったため、全国的に春の平均気温はかなり高かった。特に東日本は平年差+2.0 と春としては1946年の統計開始以来最も高かった。東日本から沖縄・奄美にかけては、高気圧に覆われ晴れた日が多かったが、北日本から西日本にかけては、低気圧の通過時には南から湿った空気が流れ込み大雨となる日もあった。春の日照時間は、東日本太平洋側と西日本、沖縄・奄美でかなり多かった。春の降水量は、北・東日本日本海側でかなり多かった。一方、沖縄・奄美ではかなり少なかった。

【夏】

夏は、7月上旬に本州付近に梅雨前線が停滞し、南から大量の湿った空気が流れ込んだため、西日本中心に数日にわたり記録的な大雨となり、土砂災害や河川の氾濫など甚大な被害が発生した（「平成30年7月豪雨」）。7月中旬以降は、太平洋高気圧とチベット高気圧の張り出しがともに強まり、多くの地方で梅雨明けがかなり早く、東・西日本中心に晴れて気温が顕著に上昇する日が多かった。7月23日には、熊谷（埼玉県）で日最高気温41.1 を記録して歴代全国1位となった。東・西日本は夏の平均気温がかなり高く、東日本では平年差+1.7 と1946年の統計開始以来最も高くなった。全国の気象官署153地点のうち48地点で夏の平均気温の高い方から1位の値（タイを含む）を記録した。一方、北日本日本海側は梅雨前線や秋雨前線の影響で、西日本太平洋側と沖縄・奄美は台風や梅雨前線の影響で記録的な大雨があったため、夏の降水量はかなり多く、沖縄・奄美では1946年の統計開始以来最も多くなった。

【秋】

秋は、日本の東海上で高気圧の勢力が強く、北からの寒気が南下しにくかったため、秋の平均気温は北・東日本で高かった。活発な秋雨前線と台風の影響で、秋の降水量は東日本から沖縄・奄美にかけて多かった。9月上旬には、台風第21号が非常に強い勢力で徳島県南部に上陸したのち近畿地方を北上した。9月下旬には、台風第24号が沖縄地方に接近した後、和歌山県田辺市付近に上陸し、西日本から北日本を縦断した。これらの台風の接近・通過に伴い、広い範囲で暴風、大雨、高潮、高波となった。

2 気温、降水量、日照時間の気候統計値

(1) 平均気温

年平均気温は、東日本でかなり高く、北・西日本と沖縄・奄美で高かった。横浜（神奈川県）など、25 地点で年平均気温の高い方から 1 位の値を更新し、福島（福島県）など 4 地点で 1 位タイを記録した。

(2) 降水量

年降水量は、北日本日本海側、西日本太平洋側でかなり多く、北日本太平洋側、東・西日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。神戸（兵庫県）、宿毛（高知県）で年降水量の多い方から 1 位の値を更新した。東日本太平洋側では平年並だった。

(3) 日照時間

年間日照時間は、東・西日本、沖縄・奄美でかなり多かった。諏訪（長野県）など 4 地点で年間日照時間の多い方から 1 位の値を更新した。北日本では平年並だった。

地域平均平年差（比）と階級（2018 年）

	気温 平年差 (階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 (階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)				
北日本	0.7 (+)	114 (+)	101 (0)	北海道	0.6 (+)	121 (+)*	97 (-)				
		日 118 (+)*	日 99 (0)			日 121 (+)*	日 96 (-)				
		太 109 (+)	太 102 (0)			才 123 (+)*	才 98 (0)				
東日本	1.1 (+)*	107 (0)	111 (+)*	東北	0.8 (+)*	104 (0)	105 (+)				
		日 114 (+)	日 110 (+)*			日 114 (+)	日 104 (+)				
		太 105 (0)	太 111 (+)*			太 97 (0)	太 106 (+)				
西日本	0.6 (+)	119 (+)*	108 (+)*	関東甲信	1.3 (+)*	99 (0)	112 (+)*				
		日 108 (+)	日 109 (+)*			北陸	0.8 (+)*	114 (+)	110 (+)*		
		太 127 (+)*	太 107 (+)*					東海	1.1 (+)*	112 (+)	110 (+)*
中国	0.6 (+)	119 (+)*	108 (+)*	近畿	0.8 (+)*			133 (+)*	110 (+)*		
						日 122 (+)*	日 113 (+)*	九州北部	0.6 (+)	103 (0)	109 (+)*
						太 137 (+)*	太 109 (+)*			九州南部	0.3 (+)
四国	0.5 (+)	119 (+)*	108 (+)*	中国	0.6 (+)	122 (+)*	109 (+)*				
						陰 113 (+)	陰 109 (+)	九州南部 ・奄美	0.3 (+)	本 113 (+)	本 104 (+)
						陽 131 (+)*	陽 108 (+)*			奄 112 (+)	奄 104 (+)
九州南部 ・奄美	0.3 (+)	116 (+)	106 (+)*	沖縄	0.4 (+)*	118 (+)	107 (+)*				
						沖縄	0.4 (+)*	118 (+)	107 (+)*		

階級表示 - : 低い(少ない) 0 : 平年並 + : 高い(多い)

*はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

地域表示 日: 日本海側

陰: 山陰 本: 本土(九州南部)

才: オホーツク海側

陽: 山陽 奄: 奄美

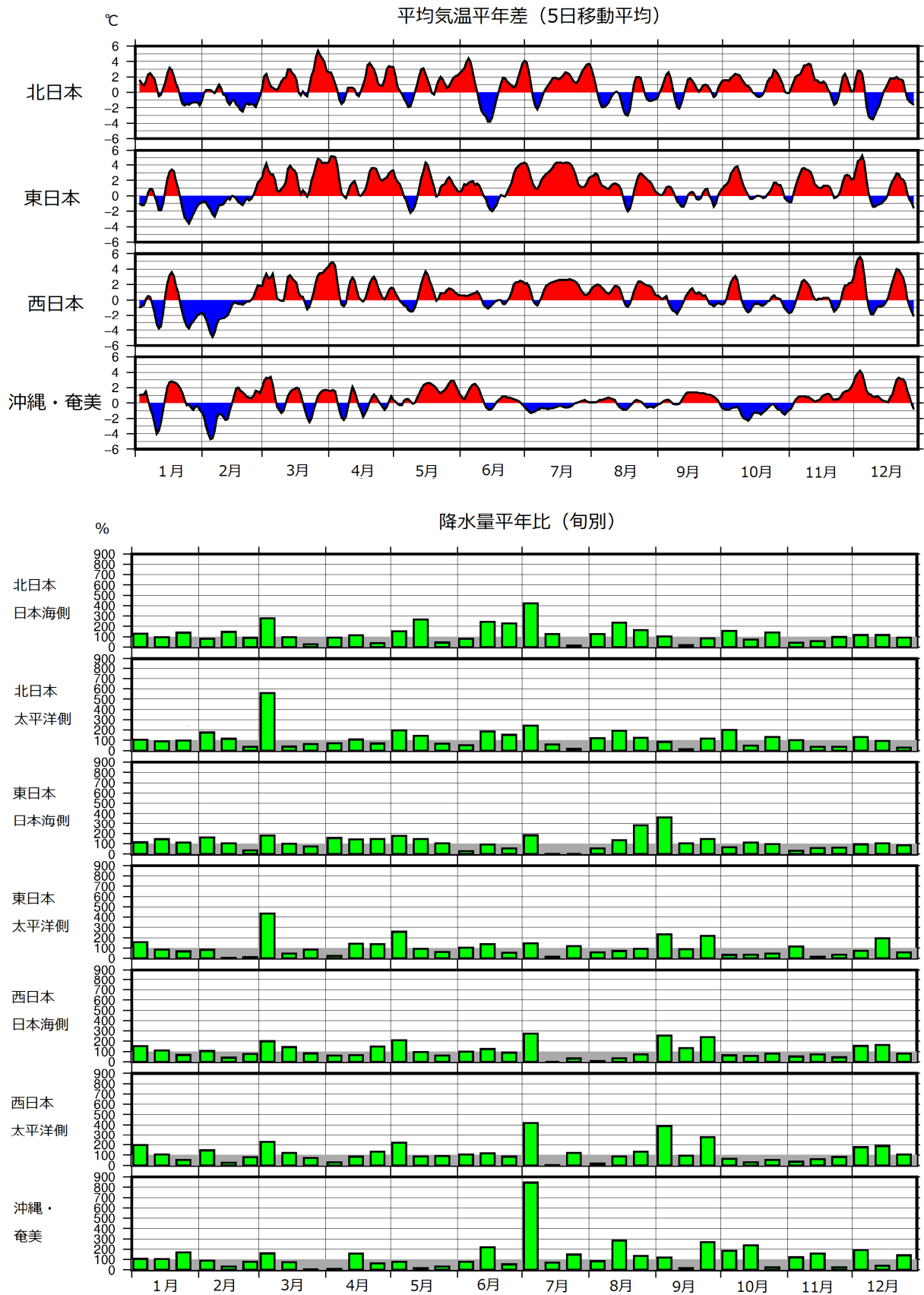
太: 太平洋側

(注)・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値で、観測所数は 153 地点である。

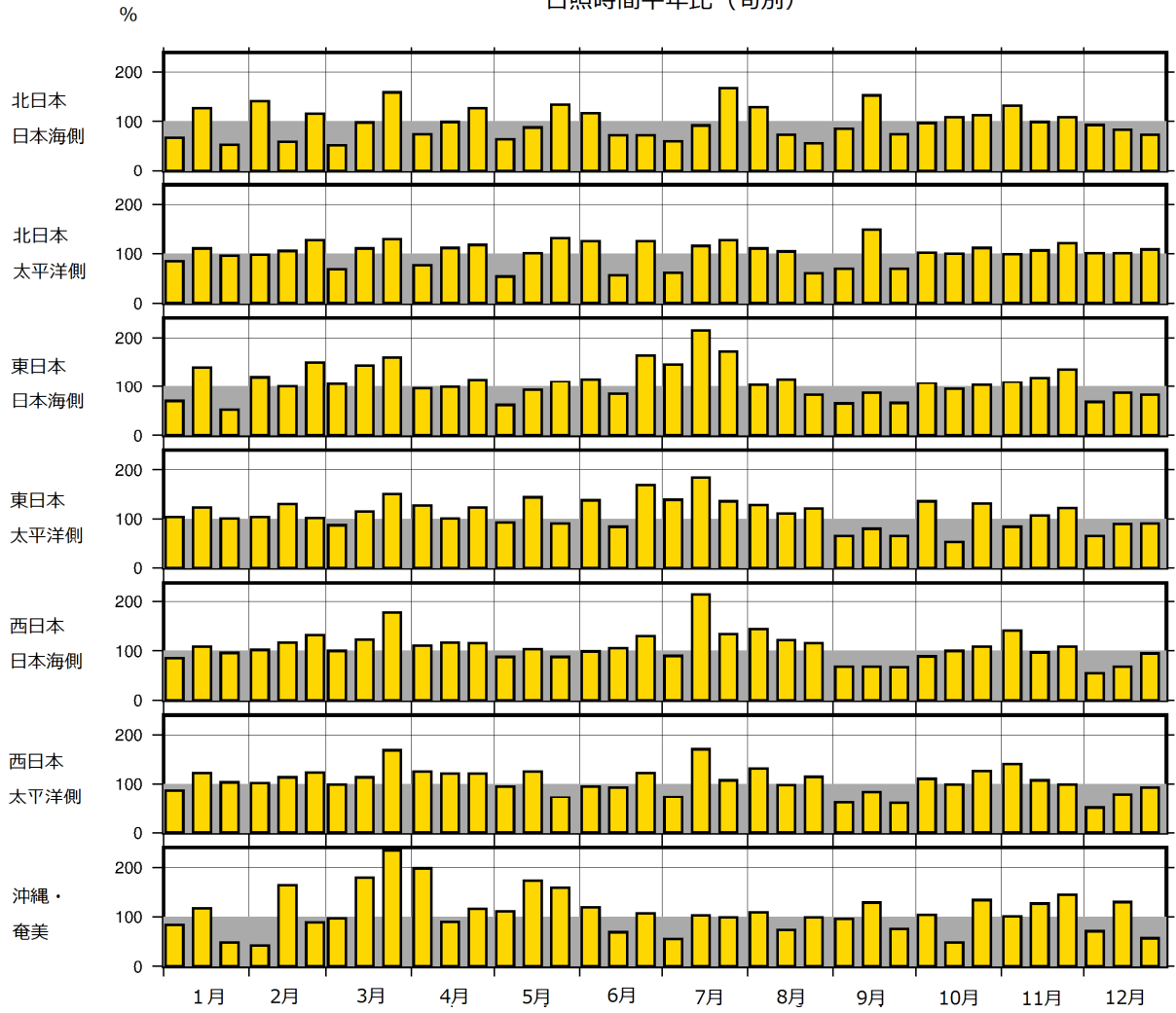
・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981~2010 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めている。また、値が 1981~2010 年の観測値の下位または上位 10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

地域平均平年差（比）の経過（2018年）



日照時間平年比（旬別）



観測史上1位の値(月、3か月、年別値)の更新地点数

- ・全国153地点(降雪の深さ、最深積雪は105地点)の気象台等の統計値の中で、観測史上1位となった地点数を記載した。
- ・値は1位を更新した地点数でタイ記録は含めない、タイ記録がある場合には「値タイ」として横に併記した
- ・地域は更新およびタイ記録の地点数の合計が5以上の地域を記載した

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	高い方から	低い方から	多い方から	少ない方から	多い方から	少ない方から	多い方から	大きい方から
1月							1タイ	
2月				4	3			
冬					5		1	
3月	46、14タイ 北、東、西		9		29 東、西、沖奄			
4月	20、1タイ 北、東			1、1タイ	2			
5月	1タイ		1	1	1			
春	30、12タイ 北、東、西		2	1	3			
6月			1	4	2			
7月	47、6タイ 北、東、西		1		5 東	1		
8月	6、6タイ 西		2	2	1			
夏	36、12タイ 東、西		1		6 東太			
9月	1		7 西	6 北		4		
10月	4タイ							
11月				6	4			
秋	1、1タイ							
12月	1		1	1		6	1	1タイ
年 2018年	25、4タイ 東		2		4			

平均気温の地域表示

北：北日本
東：東日本
西：西日本
沖奄：沖縄・奄美

降水量、日照時間、降雪の深さ、最深積雪の地域表示

北：北日本
東：東日本
西：西日本
沖奄：沖縄・奄美
北日：北日本日本海側
東日：東日本日本海側
西日：西日本日本海側
北太：北日本太平洋側
東太：東日本太平洋側
西太：西日本太平洋側

各地方の梅雨入り・明けと梅雨の時期の降水量

地方名	梅雨入り(注1)	平 年	梅雨明け(注1)	平 年	梅雨の時期の降水量 平年比 (注2)
沖 縄	6月1日ごろ(+)*	5月9日ごろ	6月23日ごろ(0)	6月23日ごろ	71%(-)
奄 美	5月27日ごろ(+)*	5月11日ごろ	6月26日ごろ(0)	6月29日ごろ	116%(+)
九州南部	6月5日ごろ(+)	5月31日ごろ	7月9日ごろ(-)	7月14日ごろ	128%(+)
九州北部	6月5日ごろ(0)	6月5日ごろ	7月9日ごろ(-)	7月19日ごろ	110%(0)
四 国	6月5日ごろ(0)	6月5日ごろ	7月9日ごろ(-)	7月18日ごろ	156%(+)*
中 国	6月5日ごろ(-)	6月7日ごろ	7月9日ごろ(-)*	7月21日ごろ	119%(+)
近 畿	6月5日ごろ(-)	6月7日ごろ	7月9日ごろ(-)*	7月21日ごろ	162%(+)*
東 海	6月5日ごろ(-)	6月8日ごろ	7月9日ごろ(-)*	7月21日ごろ	110%(0)
関東甲信	6月6日ごろ(-)	6月8日ごろ	6月29日ごろ(-)*	7月21日ごろ	92%(0)
北 陸	6月9日ごろ(0)	6月12日ごろ	7月9日ごろ(-)*	7月24日ごろ	70%(-)
東北南部	6月10日ごろ(0)	6月12日ごろ	7月14日ごろ(-)*	7月25日ごろ	43%(-)*
東北北部	6月11日ごろ(0)	6月14日ごろ	7月19日ごろ(-)	7月28日ごろ	99%(0)

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「 日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)*: かなり遅い、(+): 遅い、(0): 平年並、(-): 早い、(-)*: かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 全国153の气象台・測候所等での観測値を用い、梅雨の時期(6~7月。沖縄と奄美は5~6月。)の地域平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)*: かなり多い、(+): 多い、(0): 平年並、(-): 少ない、(-)*: かなり少ない、の階級区分を表す。

階級区分は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%	33%	33%
	10%		10%
梅雨入り・明け	遅い かなり遅い	平年並	早い かなり早い
降水量	少ない かなり少ない	平年並	多い かなり多い

3 季節別の天候経過

冬（2017年12月～2018年2月）:

全国的に寒冬だった

日本海側の降雪量は西日本ではかなり多く、東日本でも多かった

東日本太平洋側では日照時間がかなり多かった

日本付近に強い寒気の流れ込むことが多く、全国的に冬の気温が低かった。特に西日本は気温平年差が-1.2で、-2.1を記録した1985/86年の冬以降の32年間で最も寒い冬となった。

西日本を中心に寒気の流れ込み冬型の気圧配置がしばしば強まったため、冬の降雪量は西日本日本海側ではかなり多く、東日本日本海側でも平野部を中心に多かった。12月中・下旬は北日本や東日本日本海側を中心に、発達した低気圧やその後の強い寒気により大雪となった。1月中旬は強い寒気の流れ込んで北陸地方を中心に大雪に見舞われ、新潟（新潟県）では8年ぶりに積雪が80cmに達した。1月下旬は、本州の南岸を発達しながら通過した低気圧により東京（東京都）で4年ぶりに積雪が20cmを超えるなど、関東甲信地方や東北太平洋側でも大雪となった。2月上・中旬は発達した雪雲が日本海から盛んに流れ込み、福井（福井県）で日最深積雪が37年ぶりに140cmを超えるなど、北陸地方を中心に積雪が多い所で平年の6倍を超える記録的な大雪となった。

冬型の気圧配置が卓越したため、冬の日照時間は、東日本太平洋側ではかなり多く西日本太平洋側で多かった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美では少なかった。

平均気温：全国的に低かった。

降水量：東日本日本海側ではかなり多く、北日本日本海側でも多かった。一方、東日本太平洋側と西日本日本海側および沖縄・奄美では少なかった。北・西日本太平洋側は平年並だった。

日照時間：東日本太平洋側ではかなり多く、西日本太平洋側でも多かった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美は少なかった。北日本太平洋側と東・西日本日本海側では平年並だった。

春（3～5月）:

全国的に気温がかなり高く、東日本では記録的な高温となった

降水量は北・東・西日本で多く、沖縄・奄美でかなり少なかった

日照時間は東日本太平洋側と西日本、沖縄・奄美でかなり多かった

日本付近への寒気の南下が弱く、期間を通して暖かい空気に覆われやすかったため、全国的に気温の高い状態が概ね持続し、北・東・西日本の3月～5月の月平均気温はいずれも高かった。春の平均気温は全国的に高く、特に東日本では平年差が+2.0となり、春としては統計を開始した1946年以降で1位の高温となった。

日本付近は高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化したが、東日本以南では高気圧に覆われやすく、晴れた日が多かったため、日照時間が多く、東日本太平洋側と西日本、沖縄・奄美ではかなり多かった。低気圧の通過時は、南から湿った空気が流れ込んだため、大雨となることが多く、北・東・西日本の降水量は多かった。一方、沖縄・奄美では、湿った空気や低気圧の影響を受けにくかったため、降水量がかなり少なかった。

平均気温：全国的にかなり高かった。

降水量：北・東日本日本海側でかなり多く、北・東日本太平洋側と西日本で多かった。一方、沖縄・奄美でかなり少なかった。

日照時間：東日本太平洋側と西日本、沖縄・奄美でかなり多く、東日本日本海側で多かった。北日本では平年並だった。

夏(6~8月):

東・西日本は、記録的な高温となった

北日本日本海側と西日本太平洋側および沖縄・奄美は、降水量がかなり多かった

「平成30年7月豪雨」など、全国各地で大雨となった

6月は梅雨前線が西日本の南岸～東日本の南海上に位置することが多かったため、西日本日本海側や東日本は曇りや雨の日が少なかった。一方、北海道地方は低気圧や前線の影響を受けやすく、6月中・下旬には大雨の日もあって月降水量がかなり多かった。

6月終わりは太平洋高気圧が日本の南東海上で強まって関東甲信地方は記録的に早い梅雨明けとなったが、7月はじめにかけて、活動の活発な梅雨前線や台風第7号の影響を受けて西日本を中心に全国の広い範囲で記録的な大雨となり、「平成30年7月豪雨」が発生した。

その後、西～北日本では平年より早く梅雨明けして盛夏となり、太平洋高気圧とチベット高気圧の張り出しがともに強く、晴れて気温が顕著に上昇する日が多かった。

8月は東・西日本では晴れて気温の高い日が多かったが、北日本と沖縄・奄美を中心に秋雨前線や台風の影響で度々大雨になった。北日本では8月各旬に秋雨前線の影響で、沖縄・奄美では8月中・下旬に台風14・18・19号の影響で大雨の日があったほか、東日本は8月後半に秋雨前線などの影響で、西日本は8月下旬に台風第19・20号の影響で大雨になった日があった。

この夏に発生した台風は18個で、1951年の統計開始以降では1994年と並んで1位タイの多さになった。台風第6号は6月15～16日に沖縄地方を東進し、沖縄・奄美で記録的な大雨となった。台風第7号は沖縄・奄美から九州の西海上を北進して日本海へ進み、「平成30年7月豪雨」の一因になった。台風第12号は7月29日に志摩半島へ東から上陸した後、西日本を西進して8月2日にかけて沖縄・奄美付近に位置し、東・西日本～沖縄・奄美の広い範囲で大荒れや大雨となった。台風第20号は8月23～24日に西日本を縦断して日本海へ進み、西日本を中心に大荒れや大雨になった所があったほか、北・東・西日本日本海側ではフェーン現象により気温が顕著に上昇して北陸地方で統計開始以来初めて40以上を記録した。

夏の平均気温は東・西日本ではかなり高く、東日本は平年差が+1.7℃となって1946年の統計開始以来最も高かったほか、全国の気象官署153地点のうち48地点で高い方から1位の値を記録した(タイを含む)。全国のアメダス地点で観測された猛暑日地点数の積算は6,479地点で、9月上旬にかけて記録的な高温が続いた2010年の5,014地点を超えた。また、7月23日には熊谷(埼玉県)で日最高気温が41.1℃となり歴代全国1位を更新したほか、全国の観測点927地点のうち202地点で通年の日最高気温が高い記録を更新した(タイを含む)。

夏の降水量は、北日本日本海側と西日本太平洋側および沖縄・奄美でかなり多かった。このうち沖縄・奄美の夏の降水量は、平年比が177%となって1946年の統計開始以来最も多くなった。夏の日照時間は、東日本と西日本日本海側ではかなり多かった。

平均気温：東・西日本でかなり高く、北日本で高かった。沖縄・奄美で平年並だった。

降水量：北日本日本海側と西日本太平洋側および沖縄・奄美でかなり多く、北日本太平洋側で多かった。東日本と西日本日本海側で平年並だった。

日照時間：東日本と西日本日本海側でかなり多く、西日本太平洋側で多かった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美で少なかった。北日本太平洋側で平年並だった。

秋(9~11月):

気温は、北・東日本で高かった

降水量は東日本から沖縄・奄美にかけては多かった

日照時間は、東日本と西日本日本海側で少なく、北日本と沖縄・奄美で多かった

9月は日本の南東海上で太平洋高気圧の勢力が強く、西日本付近に停滞する秋雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込みやすかった。また、台風第21号、第24号、第25号が日本に接近あるいは上陸し、秋雨前線の活動が活発となって、広い範囲で大雨、暴風、高潮、高波となった。10月と11月は、全国的に天気は数日の周期で変化した。

秋の降水量は東日本から沖縄・奄美にかけては多く、東日本と西日本日本海側では日照時間が少なかった。沖縄・奄美は、台風や前線の影響で秋の降水量は多くなったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かったことから、日照時間も多かった。一方、北日本では、9月は高気圧に覆われやすく、11月は寒気や気圧の谷の影響を受けにくかったため、秋の降水量は少なく、日照時間は多かった。

気温は、暖かい空気に覆われやすかった北・東日本では高かった。西日本は、気温の変動はあったが、平均すると平年並だった。沖縄・奄美は、9月は暖かい空気が流れ込みやすく気温がかなり高かったが、10月は冷たい空気が入りやすく気温がかなり低くなり、秋としては平年並だった。

平均気温：北・東日本で高かった。西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

降水量：東・西日本と沖縄・奄美で多かった。一方、北日本では少なかった。

日照時間：東日本と西日本日本海側で少なかった。一方、北日本と沖縄・奄美では多かった。西日本太平洋側は平年並だった。

4 全国気候表 2018年

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数			日照時間(平年比) 階級		
	()	()		(mm)	(%)		1mm	(h)	(%)			
札幌	9.5	(+0.6)	+	1282.0	(116)	+	157	1741.6	(100)			
稚内	7.3	(+0.5)	+	1114.0	(105)	+	164	1471.0	(99)			
北見枝幸	6.6	(+0.6)	+	1354.5	(118)	+	179	1491.1	(96)	-		
旭川	7.4	(+0.5)	+	1434.0	(138)	+*	171	1503.6	(95)	-		
留萌	8.1	(+0.4)		1386.5	(123)	+*	171	1514.1	(98)			
羽幌	8.1	(+0.4)	+	1451.5	(113)	+	184	1477.8	(94)	-		
岩見沢	8.3	(+0.7)	+	1453.0	(125)	+*	161	1618.1	(94)	-		
倶知安	7.4	(+0.4)	+	1888.5	(128)	+*	198	1407.0	(96)			
小樽	8.9	(+0.3)	+	1457.5	(118)	+	172	1560.7	(96)	-		
寿都	9.1	(+0.5)	+	1490.5	(127)	+*	180	1343.9	(95)	-		
網走	7.1	(+0.6)	+	948.5	(120)	+	122	1883.7	(101)			
紋別	7.0	(+0.6)	+	1032.0	(127)	+*	133	1688.1	(98)			
雄武	6.3	(+0.6)	+	1083.5	(125)	+*	129	1633.5	(98)	-		
釧路	7.2	(+1.0)	+*	1136.5	(109)	+	105	1914.6	(97)	-		
根室	7.0	(+0.7)	+	1174.0	(115)	+	116	1891.2	(103)	+		
帯広	7.5	(+0.7)	+	1107.0	(125)	+*	98	1986.9	(98)	-		
広尾	7.8	(+1.0)	+*	1856.5	(109)	+	131	1742.5	(96)	-		
室蘭	9.4	(+0.8)	+*	1354.5	(114)	+	155	1666.3	(97)	-		
苫小牧	8.3	(+0.7)	+	1456.5	(122)	+*	125	1723.1	(101)			
浦河	8.5	(+0.6)	+	1323.0	(123)	+	126	1713.4	(93)	-		
函館	9.8	(+0.7)	+	1578.0	(137)	+*	149	1715.4	(98)			
江差	10.4	(+0.3)		1447.5	(121)	+	168	1364.6	(94)	-		
青森	11.0	(+0.6)	+	1553.0	(119)	+	172	1642.0	(102)	+		
深浦	11.1	(+0.4)	+	1841.5	(126)	+*	159	1395.8	(96)			
むつ	10.2	(+0.7)	+	1667.5	(124)	+*	154	1587.3	(99)			
八戸	10.9	(+0.7)	+	1177.0	(115)	+	94	1879.4	(101)			
秋田	12.3	(+0.6)	+	2016.5	(120)	+*	168	1526.2	(100)			
盛岡	11.0	(+0.8)	+*	1322.0	(104)		120	1778.1	(106)	+		
大船渡	12.4	(+1.1)	+*	1518.5	(98)		105	1800.9	(103)			
宮古	11.2	(+0.6)	+	1361.0	(102)		94	1924.5	(102)			
仙台	13.6	(+1.2)	+*	1082.0	(86)	-	106	1998.4	(111)	+*		
石巻	12.4	(+0.8)	+*	929.5	(87)	-	94	2066.5	(107)	+		
山形	12.6	(+0.9)	+*	1124.0	(97)		137	1765.0	(109)	+		
新庄	11.3	(+0.6)	+	2430.5	(131)	+*	181	1431.8	(108)	+		
酒田	13.2	(+0.5)	+	2400.5	(127)	+*	176	1544.2	(99)			
福島	14.2	(+1.2)	+*	828.0	(71)	-*	101	1915.7	(110)	+*		
若松	12.8	(+1.1)	+*	947.0	(78)	-*	144	1831.9	(114)	+*		
白河	12.7	(+1.2)	+*	1211.0	(86)	-	105	2008.0	(113)	+*		
小名浜	14.7	(+1.3)	+*	1393.0	(99)		95	2235.4	(109)	+*		
水戸	15.3	(+1.7)	+*	1282.5	(95)		106	2199.1	(114)	+*		
館野(つくば)	15.3	(+1.5)	+*	1094.5	(85)	-	97	2155.4	(113)	+*		
宇都宮	15.2	(+1.4)	+*	1257.0	(84)	-	101	2156.3	(113)	+*		
日光	8.1	(+1.2)	+*	2131.0	(98)		110	1928.1	(109)	+		

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 1mm	日照時間(平年比)		階級
	()	()		(mm)	(%)			(h)	(%)	
前橋	16.1	(+1.5)	+*	1046.5	(84)	-	94	2381.3	(113)	+*
熊谷	16.4	(+1.4)	+*	1056.0	(82)	-	86	2308.3	(113)	+*
秩父	14.5	(+1.4)	+*	1319.0	(99)		89	2180.2	(115)	+*
東京	16.8	(+1.4)	+*	1445.5	(95)	-	103	2112.2	(113)	+*
大島	17.3	(+1.2)	+*	2958.0	(105)		120	1877.9	(104)	+
三宅島	18.8	(+1.1)	+*	2890.0	(98)		139	1760.1	(103)	
八丈島	18.7	(+0.9)	+*	2886.5	(90)	-	156	1570.8	(112)	+*
父島	24.1	(+0.9)	+*	936.0	(72)	-	105	2176.0	(107)	+*
千葉	17.2	(+1.5)	+*	1261.0	(91)	-	96	2120.2	(111)	+*
銚子	16.8	(+1.4)	+*	1672.5	(101)		115	2177.3	(111)	+*
館山	17.2	(+1.3)	+*	1904.5	(106)	+	118	2167.1	(112)	+*
勝浦	16.9	(+1.2)	+*	2006.5	()		113]	2097.7	(109)	+*
				(統計月数:11) (統計月数:11)						
横浜	17.1	(+1.3)	+*	1573.5	(93)		104	2194.6	(112)	+*
長野	13.0	(+1.1)	+*	886.0	(95)		110	2121.9	(109)	+*
松本	13.2	(+1.4)	+*	1048.0	(102)		91	2347.5	(112)	+*
諏訪	12.3	(+1.2)	+*	1429.0	(112)		102	2406.3	(114)	+*
軽井沢	9.3	(+1.1)	+*	1239.5	(100)		108	2226.5	(115)	+*
飯田	13.8	(+1.0)	+*	1994.5	(124)	+	122	2242.2	(111)	+*
甲府	16.0	(+1.3)	+*	1153.5	(102)		84	2391.3	(110)	+*
河口湖	11.8	(+1.2)	+*	1868.0	(119)	+	102	2206.8	(113)	+*
静岡	17.7	(+1.2)	+*	2442.0	(105)		106	2208.7	(105)	+
浜松	17.4	(+1.0)	+*	2153.5	(119)	+	108	2361.9	(108)	+*
御前崎	17.4	(+1.0)	+*	1982.5	(96)		100	2408.9	(108)	+*
三島	17.1	(+1.2)	+*	1868.5	(100)		106	2098.7	(107)	+
石廊崎	17.6	(+1.0)	+*	1752.0]	()		106]	2125.7]	()	
				(統計月数:11) (統計月数:11)				(統計月数:11)		
網代	17.1	(+1.1)	+*	1895.5	(96)		109	1984.8	(111)	+*
名古屋	16.9	(+1.1)	+*	1695.5	(110)	+	111	2330.6	(111)	+*
伊良湖	16.9	(+0.9)	+*	1945.0	(121)	+*	107	2378.0	(108)	+*
岐阜	16.9	(+1.1)	+*	2087.0	(114)	+	114	2277.8	(109)	+*
高山	12.2	(+1.2)	+*	2377.5	(140)	+*	138	1838.1	(113)	+*
津	16.9	(+1.0)	+*	1720.0	(109)	+	108	2325.9	(111)	+*
上野	15.3	(+1.1)	+*	1722.5	(126)	+*	112	2059.0	(117)	+*
尾鷲	16.9	(+0.8)	+*	4377.0	(114)	+	127	2158.9	(111)	+*
四日市	15.8	(+1.0)	+*	1870.5	(108)		117	2164.6	(110)	+*
新潟	14.3	(+0.7)	+	1795.5	(99)		173	1698.8	(104)	+
相川	14.4	(+0.5)	+	1692.0	(112)	+	159	1709.7	(105)	+
高田	14.4	(+0.8)	+	2634.5	(96)		189	1772.1	(111)	+*
富山	15.0	(+0.9)	+*	2751.0	(120)	+	179	1799.5	(112)	+*
伏木	14.7	(+0.8)	+	2559.5	(115)	+	187	1820.6	(113)	+*

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 1mm	日照時間(平年比)		階級
	()	()		(mm)	(%)			(h)	(%)	
金 沢 輪 島	15.5	(+0.9)	+*	2765.5	(115)	+	185	1880.7	(112)	+*
	14.2	(+0.7)	+	2736.5	(130)	+*	183	1678.3	(107)	+
福 井 敦 賀	15.3	(+0.8)	+	2632.0	(118)	+	175	1844.4	(114)	+*
	16.2	(+0.9)	+*	2560.0	(120)	+	172	1778.4	(114)	+*
彦 根	15.7	(+1.0)	+*	1863.0	(119)	+*	127	2060.4	(113)	+*
京 都 舞 鶴	16.9	(+1.0)	+*	1770.0	(119)	+	107	1981.8	(112)	+*
	15.3	(+0.8)	+	2436.0	(133)	+*	145	1736.4	(113)	+*
大 阪	17.4	(+0.5)	+	1651.5	(129)	+*	96	2265.6	(113)	+*
神 戸 豊 岡	17.4	(+0.7)	+	2037.5	(168)	+*	97	2247.5	(108)	+*
	15.2	(+0.9)	+	2317.5	(114)	+*	166	1680.0	(113)	+*
姫 路 洲 本	15.9	(+0.7)	+	1670.5	(139)	+*	90	2194.9	(108)	+
	16.3	(+0.8)	+*	2220.5	(158)	+*	100	2145.1	(104)	+
奈 良	16.2	(+1.3)	+*	1646.5	(125)	+*	110	2065.2	(113)	+*
和 歌 山 潮 岬	17.3	(+0.6)	+	1950.5	(148)	+*	94	2288.8	(110)	+*
	17.5	(+0.2)		2732.0	(108)		130	2407.8	(107)	+*
岡 山 津 山	16.3	(+0.1)		1410.0	(127)	+*	84	2229.2	(110)	+*
	14.4	(+0.7)	+	1963.0	(139)	+*	99	1936.7	(110)	+*
広 島 呉	16.8	(+0.5)	+	1878.5	(122)	+	81	2181.5	(107)	+
	16.8	(+0.6)	+	1757.0	(127)	+*	78	2195.5	(107)	+*
福 山	15.9	(+0.5)	+	1582.0	(142)	+*	91	2247.5	(107)	+
松 江 西 郷	15.6	(+0.7)	+	1976.5	(111)	+	148	1851.1	(109)	+*
	14.8	(+0.5)	+	1981.5	(110)	+	132	1871.5	(107)	+
浜 田	16.0	(+0.5)	+	1969.0	(118)	+	112	1957.2	(112)	+*
鳥 取 米 子	15.7	(+0.8)	+*	2183.5	(114)	+*	152	1825.7	(110)	+
	15.8	(+0.8)	+	1966.0	(111)	+	144	1901.9	(110)	+*
境	15.8	(+0.7)	+	2200.0	(116)	+	152	1825.3	(106)	+
徳 島	17.1	(+0.5)	+	1760.0	(121)	+	106	2289.9	(109)	+*
高 松 多 度 津	17.0	(+0.7)	+	1575.0	(146)	+*	94	2248.1	(109)	+*
	16.8	(+0.6)	+	1635.5	(153)	+*	94	2283.2	(108)	+*
松 山 宇 和 島	17.1	(+0.6)	+	1796.5	(137)	+*	90	2172.2	(108)	+*
	17.2	(+0.4)	+	2178.0	(132)	+*	117	1969.5	(101)	
高 知 宿 毛	17.4	(+0.4)	+	3092.5	(121)	+	114	2265.0	(105)	+
	17.5	(+0.6)	+	2944.5	(149)	+*	120	2191.5	(104)	+
清 水 室 戸 岬	18.4	(+0.2)		2958.5	(119)	+	125	2297.3	(104)	+
	16.9	(+0.2)		2393.0	(103)		122	2259.7	(104)	+

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級		降水日数 1mm	日照時間(平年比) 階級			
	()	()	()	(mm)	(%)		(h)	(%)	(%)	
山口	16.0	(+0.7)	+	1939.5	(103)	108	2025.0	(110)	+*	
下関	17.2	(+0.5)	+	1563.0	(93)	91	2061.0	(110)	+*	
萩	16.1	(+0.6)	+	1693.0	(102)	100	1927.1	(112)	+*	
福岡	17.7	(+0.7)	+	1617.0	(100)	111	2094.8	(112)	+*	
飯塚	16.2	(+0.5)	+	1794.0	(102)	97	2010.9	(110)	+*	
大分	17.1	(+0.7)	+	1663.0	(101)	101	2143.3	(107)	+*	
日田	16.2	(+0.8)	+	1872.5	(103)	106	1963.9	(109)	+*	
長崎	17.7	(+0.5)	+	1821.0	(98)	107	1994.4	(107)	+*	
厳原	16.2	(+0.4)	+	2926.0	(131)	+*	87	2036.1	(109)	+*
平戸	16.6	(+0.5)	+	2202.5	(104)	106	1921.4]	()		
							(統計月数:11)			
佐世保	17.6	(+0.6)	+	1988.0	(102)	106	2130.8	(112)	+*	
雲仙岳	13.2	(+0.4)	+	3032.5	(105)	119	1627.1	(113)	+*	
福江	17.2	(+0.4)	+	1863.0	(80)	-	123	1900.5	(108)	+
佐賀	17.4	(+0.9)	+*	1877.0	(100)	105	2133.7	(108)	+*	
熊本	17.5	(+0.6)	+	1950.5	(98)	100	2089.9	(104)	+	
人吉	16.1	(+0.6)	+	2812.5	(118)	+	122	1858.8	(102)	
牛深	18.4	(+0.4)	+	2166.5	(109)	+	120	2164.7	(111)	+*
宮崎	17.8	(+0.4)	+	3167.5	(126)	+*	131	2191.9	(104)	+
延岡	16.9	(+0.3)	+	2865.0	(125)	+	118	2225.2	(105)	+
都城	17.1	(+0.6)	+	2943.0	(119)	+	132	2002.6	(103)	+
油津	18.3	(+0.1)		2780.5	(107)	+	136	1962.0	(100)	
鹿児島	19.0	(+0.4)	+	2397.0	(106)	+	114	2051.2	(106)	+
阿久根	17.7	(+0.5)	+	2456.5	(119)	+	114	2109.0	(108)	+
枕崎	18.4	(+0.3)	+	2302.0	(106)		126	1994.8	(104)	+
屋久島	19.7	(+0.3)		4544.0	(101)		170	1559.2	(102)	+
種子島	19.8	(+0.2)		2496.0	(106)		137	1869.0	(104)	+
名瀬	21.8	(+0.2)	+	3196.0	(113)	+	168	1372.5	(101)	
沖永良部	22.7	(+0.3)	+	2047.0	(111)	+	127	2019.4	(107)	+*
那覇	23.5	(+0.4)	+	2469.5	(121)	+	128	1876.5	(106)	+
名護	23.0	(+0.4)	+*	2325.0	(115)	+	141	1844.5	(105)	+
久米島	23.4	(+0.5)	+*	2699.5	(128)	+*	124	1896.0	(108)	+*
宮古島	23.8	(+0.2)	+	2635.5	(130)	+*	142	1845.0	(104)	+
石垣島	24.6	(+0.3)	+	2400.0	(114)	+	138	1991.7	(108)	+*
西表島	24.1	(+0.4)	+*	2404.0	(104)	+	154	1894.7	(109)	+*
与那国島	24.2]	()		2313.0	(98)		160	1763.1]	()	
							(統計月数:11)			
南大東島	23.8	(+0.5)	+*	1225.0	(77)	-	104	2276.8	(107)	+*

(注) 1. 値の横に] がある場合(資料不足値)には、統計期間内のデータに欠測等統計に
用いなかった値が含まれているので注意されたい。
2. 平年差(比)は同期間の日別平年値を平均・合計したものである。

5 極値順位更新表 2018 年

過去の平年差（比）と同値は「＝」で表す。

年平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温	平年差	これまでの最高 (西暦年)	開始年	平年値
1	福島	14.2 =	+1.2	14.2 (2016)	1889	13.0
	白河	12.7	+1.2	12.5 (2016)	1940	11.5
	小名浜	14.7	+1.3	14.5 (2016)	1910	13.4
	宇都宮	15.2	+1.4	14.9 (2015)	1890	13.8
	松本	13.2	+1.4	13.1 (2016)	1898	11.8
	諏訪	12.3	+1.2	12.2 (2016)	1945	11.1
	軽井沢	9.3	+1.1	9.2 (2004)	1925	8.2
	前橋	16.1	+1.5	15.6 (2016)	1896	14.6
	熊谷	16.4	+1.4	16.1 (2004)	1896	15.0
	水戸	15.3	+1.7	14.8 (2016)	1897	13.6
	岐阜	16.9 =	+1.1	16.9 (2016)	1883	15.8
	飯田	13.8 =	+1.0	13.8 (2016)	1897	12.8
	甲府	16.0	+1.3	15.8 (2004)	1894	14.7
	河口湖	11.8	+1.2	11.7 (2016)	1933	10.6
	秩父	14.5	+1.4	14.1 (2015)	1926	13.1
	館野	15.3	+1.5	14.9 (2016)	1921	13.8
	銚子	16.8	+1.4	16.7 (1979)	1887	15.4
	静岡	17.7	+1.2	17.6 (2016)	1940	16.5
	三島	17.1	+1.2	16.9 (2016)	1930	15.9
	石廊崎	17.6 =	+1.0	17.6 (2004)	1939	16.6
網代	17.1	+1.1	17.0 (2004)	1937	16.0	
横浜	17.1	+1.3	16.9 (2016)	1896	15.8	
館山	17.2	+1.3	16.8 (2016)	1968	15.9	
勝浦	16.9	+1.2	16.8 (2016)	1906	15.7	
大島	17.3	+1.2	17.1 (2004)	1938	16.1	
三宅島	18.8	+1.1	18.7 (2004)	1942	17.7	
千葉	17.2	+1.5	16.8 (2016)	1966	15.7	
日光	8.1	+1.2	8.0 (2016)	1944	6.9	
奈良	16.2	+1.3	16.0 (2016)	1953	14.9	
2	大船渡	12.4 =	+1.1	12.5 (2015)	1963	11.3
	仙台	13.6 =	+1.2	13.7 (2015)	1926	12.4
	長野	13.0	+1.1	13.1 (2016)	1889	11.9
	名古屋	16.9	+1.1	17.0 (2016)	1890	15.8
	浜松	17.4 =	+1.0	17.5 (2016)	1882	16.4
	御前崎	17.4	+1.0	17.5 (2004)	1932	16.4
	洲本	16.3 =	+0.8	16.7 (1998)	1919	15.5
	父島	24.1	+0.9	24.2 (2016)	1968	23.2
3	釧路	7.2 =	+1.0	7.7 (2015)	1910	6.2
	苫小牧	8.3 =	+0.7	9.0 (1990)	1942	7.6
	若松	12.8	+1.1	12.9 (2016)	1953	11.7
	富山	15.0	+0.9	15.2 (2016)	1939	14.1
	高山	12.2	+1.2	12.3 (2016)	1899	11.0
	上野	15.3	+1.1	15.5 (2016)	1937	14.2
	津	16.9 =	+1.0	17.2 (1998)	1890	15.9
	京都	16.9	+1.0	17.1 (2016)	1880	15.9
	彦根	15.7 =	+1.0	15.8 (2016)	1893	14.7

	神戸	17.4 =	+0.7	17.8 (2016)	1896	16.7
	佐賀	17.4 =	+0.9	17.9 (2016)	1891	16.5
	日田	16.2 =	+0.8	16.8 (2016)	1942	15.4
	南大東島	23.8 =	+0.5	24.7 (1998)	1942	23.3

年平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

年降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	神戸	2037.5	168	1759.9 (1935)	1896	1216.2
	宿毛	2944.5	149	2892.1 (1950)	1943	1971.6
2	新庄	2430.5	131	2751.0 (2013)	1957	1855.8
	高山	2377.5	140	2385.0 (1945)	1899	1699.5
	多度津	1635.5	153	1714.2 (1923)	1892	1068.4
3	函館	1578.0	137	1745.5 (1873)	1872	1151.7
	酒田	2400.5	127	2727.0 (2013)	1937	1892.4
	洲本	2220.5	158	2497.5 (2011)	1919	1406.6

年降水量少ない方からの順位更新

3位以内はなし

年間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	諏訪	2406.3	114	2357.2 (2013)	1945	2119.8
	上野	2059.0	117	2025.2 (2013)	1937	1765.9
	西表島	1894.7	109	1864.5 (2009)	1958	1736.0
	沖永良部	2019.4	107	2017.1 (1977)	1969	1880.5
2	軽井沢	2226.5	115	2277.2 (1940)	1925	1940.0
	秩父	2180.2	115	2185.1 (2013)	1926	1900.2
	奈良	2065.2	113	2128.4 (1978)	1953	1823.0
3	若松	1831.9	114	1893.4 (1994)	1953	1613.2
	高山	1838.1	113	1858.7 (1943)	1902	1623.7
	尾鷲	2158.9	111	2244.7 (2013)	1938	1946.9
	千葉	2120.2	111	2183.9 (2004)	1966	1903.7
	神戸	2247.5	108	2263.7 (1942)	1897	2072.6
	日田	1963.9	109	2093.6 (1994)	1942	1803.2

年間日照時間少ない方からの順位更新

3位以内はなし

平年値(*)は日別平年値を平均・合計したものである。
平年値とは1981~2010年の30年間の値を平均したものである。

本資料に関連した各地点の所在地等の情報は、気象庁ホームページに掲載しています。

ホーム > 各種データ・資料 > 過去の気象データ検索 > 利用される方へ > 地上気象観測地点一覧

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/chiten/sindex2.html>

(注意)

当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

また、最新のデータを追加した上で、毎月 15 日頃に気象庁ホームページの「日本の天候 (<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/>)」で詳しく解説しています。